

# 1980 ESCAラリー 報告

川村 法靖

夏休みも終わりがちで、8月25日の早朝、波頭くんと川村の3人は、上野駅に集合し、6:30発急行はんだの1号に身乗り。ほんとうは石川としゆかの手定ま未か、病気のAFX欠席。このため打ち込みでESCAラリーに参加するということになった。

電車で猪苗代まで行く人は、ほとんどこの電車で、天竺電車には、100人以上のサイクリストが乗っており、11台ほどは三輪行袋が置いてある。私たちが3人は最初車両に乗る。ほかのサイクリストとは話さず、自分たちだけで雑談をしながら進んでいく。3人という少人数は、見かねて感じ、さらに波頭の「サイクリストのこの出し物のことを考え、むしむし三輪行袋のいので落ちこんでいた。約4時間で猪苗代駅に着き、電車を降り、駅前に出ると、そこはサイクリスト天国だった。みんなが、いっせいに自転車を組み立て始めた。母の人たちは「いったいなにをしているんだろう。」という感じではなかった。私たちがも、自転車を組み立てていると、専修大の人が8ミリマイクを持ってインタビューに来た。波頭くんと今泉さんが答えていたので、今年の新歓レセプションに出演するだろう。

集合場所の千里小学校へ行くと、人がせみせみしない、心配になって3人でうろうろしているとサイクリストがぞろぞろとやってきたので、ひと安心。集合時間になると約200人のサイクリストが集まった。よその大学は

たいたい5~10人で、多いところは15人くらいで集まって  
闘争式が行われた。その日の行進のクルー・アップのクルー  
分けがあった。学年別のクルー・アップでコースを走ることに決めた。  
初のクルー・アップは、女性1名を含めた9名で、歩いて集まった  
大学の人が多かった。他の人の自転車を見ながら、アムステルダム  
4号(今は102号)、アムステルダムのクルー・アップのクルー、カ  
ンパという名の新しい編隊があった。走らせてみると、各組の  
ペースはばらばら。最初、10人の人が先頭を走らせていて、  
ペースを遅くしたので、かなり遅く走っていた。この  
日のペースが、ええと遅く、おかげでより早く10kmを  
走っていた。その20分ほど、休みをとって、朝食をした。  
二人も速いペースで走って、この時間にも走って、各組  
の五色の旗が夜間に燃えていた。この日の景色は、  
いまも残った。待たされたのが、あつた。

夕暮れが、そのころから大人数のため、当番制で炊事  
をやることに決めた。我が町では、ヒール、ワルとか  
ふたつ、そのころ、文明の利器を備えて炊事を打た  
てた。炊事係が、お茶を飲んでいた。よりの町  
は、あの新しい町に、有難く合宿へ行くといい。  
飯を、お茶を、そのころ、そのころ、食事を、そのころ  
なるに、生存競争が、そのころ、そのころ、あつたが、あの町  
の野性さ、そのころ、生存力の、そのころ、あつたが、  
お茶を、そのころ、そのころ、あつた。あつた、そのころ、  
上品に「お茶の歌」を、そのころ、あつた、あつた、  
始めていた。



再び走り始めると さき下った。勾配 10%の坂が待っていた。私がマイペースでのぼっていると MMLKの人がハーフリ始めたので 彼にあわせて ゆっくりと走った。雨が終わりに下りになると 体が雨と汗でぬれているため、かなり寒かったが雨やどりするところがないのでしかたがなかった。ハートをくぐり 少走ると大きな通りに出て、そこで「タムタム」どうでもいっから サボらないかというところで、喫茶店に入ることが同じことを考える人はかなりいて、ここも ESCAラリーの人たちはかいた。30分ぐらいしてから 再び冷たい雨具をつけて第2ポイント に向かって走り始めたが、1時というところで、腹がへてきたが 弁当を食べるような場所がなかった。第2ポイントでチェックをすまして少し走ると 民家の裏で雨やどりしているサイクリストがいたのでそこへ入ってみると中には 12.3人のサイクリストがいて 弁当を食べてお茶をわけて飲んでいたりしていたので、そこでお昼にした。結局、ここで30分ぐらい雑談をしていたので、もう Just Time 賞を取ることは不可能になった。ここにはしかたがないので、今日のキャンプ場に向かって走り始めたが、雨は全然弱まるだけ。全身びしょぬれになって キャンプ場についたら、今泉さんや波頭さんはすでに着いていて紅茶を飲んでいた。やはり 軟弱OLコースに行った方がよかったです。

このキャンプ場では、炊事場から離れた、4人用のバンの中に入った。残りの3人のうち1人は今日16kmに走った人だったので2人で、売店のほうへ行き雑談なんかをして時間をつぶしていた。1時間ぐらいして、バンの中に戻って来て



。3日目(8月27日)

昨日とはちがって雨は降っていないが、朝飯を食、荷物整理をしていると集金の合図がかかった。広場に行くとおとすと、集金会式が始まった。昨日の競技の成績発表あり、レクリエーションの抽選と Just Time 賞を求めているが、抽選の結果は Just Time を1時間以上オーバーのコースの方は、順位の下がらないらしく、抽選で優勝を求めている。そして記念品のクッキーが配られ、閉会の言葉をもち、780 ESCAラリーが終了。解散の音で知り合った仲間と記念写真を取り、再会を誓って別れた。

東部の3人は、再び集まり、この持ちまわりに猪苗代駅へ行ってもよろしくないから、アールドライブまで廻って会津若松から帰るとにした。アールドライブのゲートまで来たが、アールドライブのゲートをくぐるとかなりきつい上りだった。しかし、ESCAラリーのコースが楽なため、アールドライブを感じながら1時間くらい登ると、峠を過ぎるところにでて、目の前には猪苗代湖が現れた。後は、広大な猪苗代湖を見ながら、夕陽を眺めながら楽しんで、そして会津若松から電車に乗って帰路についた。

以上で 780 ESCAラリー報告を終わります。

1981 ESCAラリーを成功させよう!!